

# 震災地応急測図原図と土砂災害

国土地理院には、関東大震災の被害状況を記載した「震災地応急測図原図」が保管されています。

1:200,000帝国図（横須賀2枚）、1:50,000地形図28枚（八王子2枚、松田惣領3枚、小田原2枚、下田町2枚、その他は各1枚）、1:50,000秘図区域の写図7枚1:20,000の1地形図7枚（神奈川2枚）、1:10,000地形図19枚、計63枚からなります。

これらの地図は、関東地震直後の9月6日から15日という短期間に、当時の参謀本部陸地測量部が延べ94名もの要員を配して作成したものです。関東大震災による被災状況が克明に読み取れると同時に、今から100年前の地形と土地利用状況、交通網の発達状況（鉄道と道路など）が分かります。

本企画展では、これらの地図を貼り合わせて、原寸、または2倍大で展示します。

また、当時の写真を地図の周囲に配置しましたので、じっくりとこれらの地図や写真などを判読して下さい。そして、現在の職場や学校やお住まいの地区の土地利用状況と比較してみてください。

# パネル展示

## 1/200000帝国図

### 横須賀（2倍拡大）

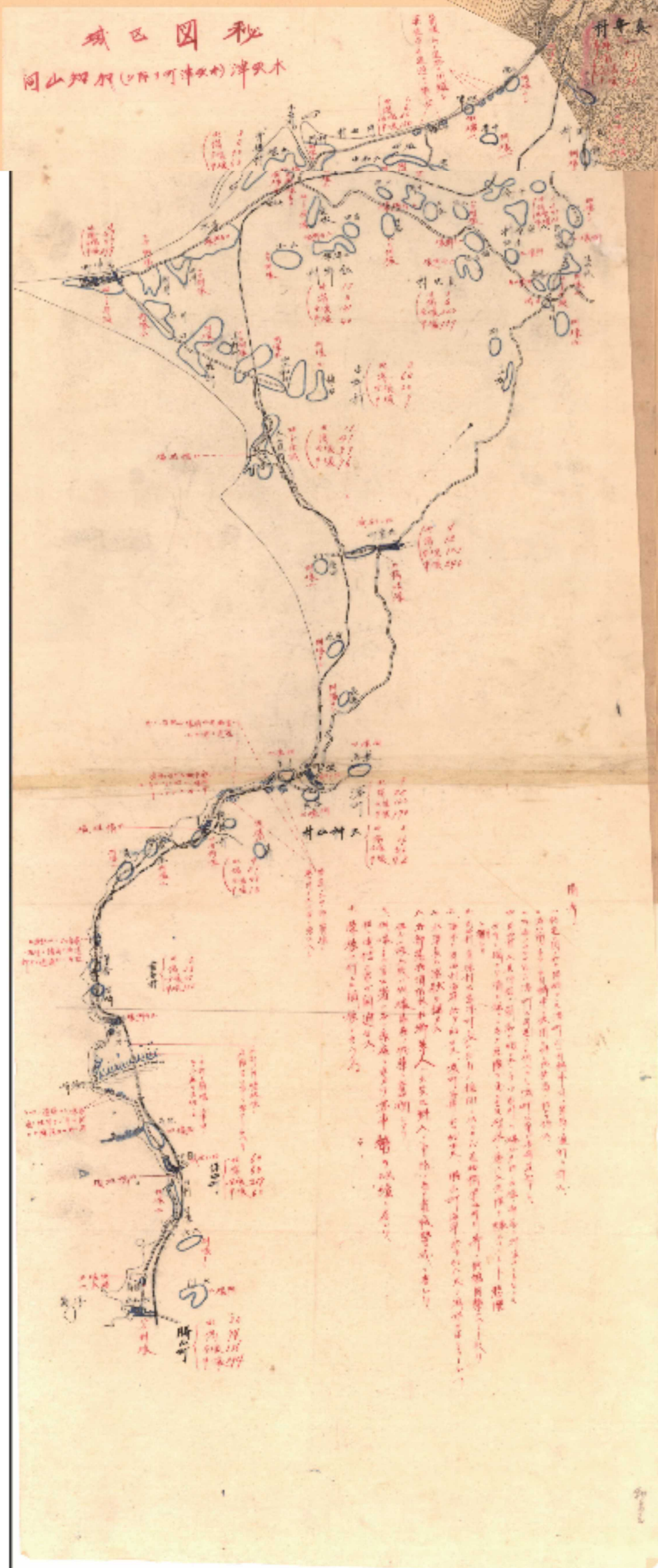
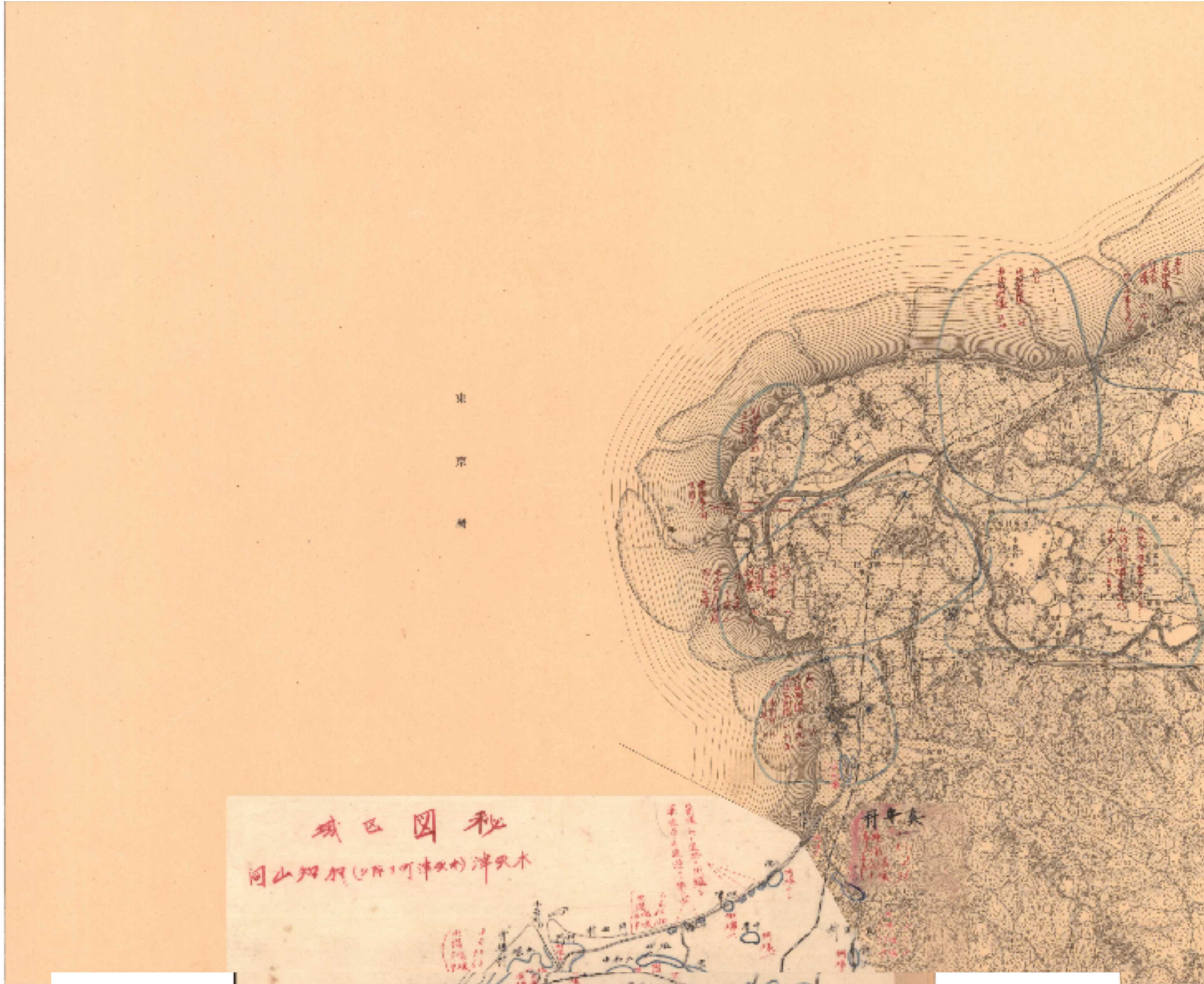


900 × 730mm

# パネル展示

## 1/50000秘図地域

「木更津」「鹿野山」「那古」(2倍拡大)



900 × 730mm

55.4 × 120mm